県中小企業団体中央会

建設関係功労者を表彰

70周年記念の組合祭りで

県中小企業団体中央会（横倉正一会長）は12日、ライトキューブ宇都宮で創立70周年事業の「組合祭り」を開催した。記念式典には経済産業省の岩田泰関東経済産業局長、福田富一知事、関谷暢之県議会議長、市町長ら多くの来賓が出席。優良組合や功労者に対する表彰が行われ、県建設業協同組合連合会、塩谷建設業協組、大田原管工事工業協組らの功績をたたえた。展示体験ブースでは宇都宮市管工事業協組、県安全施設業協組などが専門工事の仕事内容を来場者にPRした。

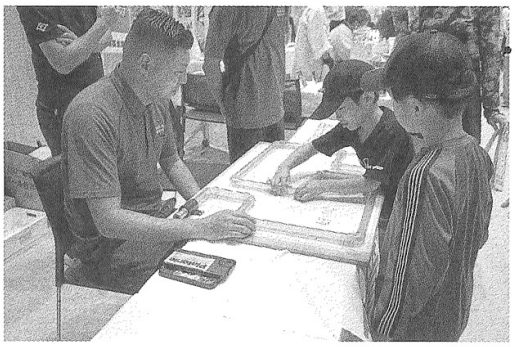
（左から）渡邉憲一塩谷建設業協組理事長、関谷議長、石川裕之県建設業協組連合会長

祭りは地域経済に貢献する組合と中小企業の活動を広く周知することを目的に開催。オープンの午前10時から多くの人でにぎわった。

オープニング式典で横倉会長は「1956年の設立以来、中小企業の組織化と組合の育成を使命に歩みを重ねてきた。70年を機に体制をより強固なものとし、専門支援機関として中小企業の振興、活力ある地域経済の発展に寄与していく」とあいさつ。

福田知事は「物価高騰や人手不足の中、企業間の連携を支え、個々の企業の力を引き出す中央会の役割はますます重要になっている」と祝辞。岩田局長、関谷議長も会の今後に期待した。

表彰を受けた組合や個人は長年にわたる組合活動に



宇管工（上）、県安全施設業協組の展示ブース

を実践し企業や地域経済の発展に貢献。関東経済産業局長表彰の駒形忠晴氏（県石灰工業組理事長）、県知事表彰の県環境整備事業協組、全国中小企業団体中央会長表彰の県北部生コンクリート協組、県中小企業団体中央会長表彰の中村勝氏（宇都宮市管工事業協組理事長）らの功績がたたえられた。

展示体験ブースでは、宇都宮市管工事業協組の青年部会員が透明管を図面通りに並べる配管パズルを用意して来場者を楽しませ、能登半島地震の復興支援の様子を映像で紹介した。

県安全施設業協組は道路標識展示や標識クイズ、区画線設置工事などを説明するパネルで仕事の内容をPR。県環境整備事業協組は浄化槽のカットモデルを設置。災害時に利用できる紙製の仮設トイレを展示するとともに凝固剤の実演も行った。

建設関係受賞者は次の通り。

［関東経済産業局長表彰］

◇組合等役員

▽駒形忠晴（県石灰工業協組理事長）

［県知事表彰］

◇優良組合

▽県環境整備事業協組（菊地豊樹理事長）

［全国中小企業団体中央会長表彰］

◇優良組合

▽大田原管工事工業協組（磯俊裕理事長）

▽県北部生コンクリート協組（後藤直人理事長）

［県中小企業団体中央会長表彰］

◇優良組合

▽県室内装飾事業協組（上田孝治理事長）

▽塩谷建設業協組（渡邉憲一理事長）

▽大田原・那須資源回収事業協組（稲田和弘理事長）

▽県建設業協組連合会（石川裕之会長）

◇組合功労者

▽中村勝（宇都宮市管工事業協組理事長）

▽前原正義（下野市建設業協組理事長）

▽大出雄一（県プロパンガス商業協組理事長）

▽沼尾公司（今市木材開発協組理事長）

▽大橋久也（下野市造園建設業協組理事長）

▽山本久一（小山広域廃棄物処理協組理事長）

▽白井秀樹（那須野環境整備事業協組理事長）

▽大島三千三（那須塩原市一般廃棄物処理協組理事長）

◇優秀事務局専従者

▽木下直哉（県コンクリート製品協組事務局長）